

今月のトピック

第8回複十字病院地域交流会 ～出会いと交流の場～

2019年11月12日(火)に第8回複十字病院地域交流会が東久留米市の成美教育文化会館で開催されました。交流会には周辺地域の89施設、合計112名の方々にご参加いただきました。「当院診療トピックス」は黒崎敦子放射線診療部長による「複十字病院放射線診療部の紹介」で本号でも詳しくご紹介させていただいております。基調講演は東京都立駒込病院名誉院長で当院内科のがん診療アドバイザーである佐々木常雄先生より「終末期における意思決定支援～人生会議～」をテーマにご講演いただきました。内科医として患者さんの気持ちに寄り添った先生の治療に対する真摯で優しい気持ちが伝わってきました。引き続き恒例のワインパーティーが行われました。複十字病院登録医会代表幹事で中川内科小児科医院院長の中川勝先生厳選のワイン3本のうち2本は珍しく辛口の白と、桜色の美しいロゼのスパークリングワインでとても好評でした。会場は大いに盛り上がり、参加者の皆様はワインと料理を片手に会話も尽きることなく、交流会を無事終了することが出来ました。参加機関の皆様には、お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。



『複十字病院放射線診療部について』—第8回複十字病院地域交流会での紹介—

複十字病院放射線診療部長 黒崎 敦子

2019年11月12日(火)に行われた第8回複十字病院地域交流会で当放射線診療部を紹介した内容をご報告いたします。

1. 放射線診療部の概要

放射線診断科、放射線治療科、PET・核医学科、IVR(画像下治療)科と放射線技術科の4部門から成り立っており、常勤の医師4名と放射線技師14名が診療を担っています。それぞれの医師は、日本放射線医学認定の放射線診断専門医や放射線治療専門医の資格を保有し、かつPET核医学認定医、超音波学会専門医、肺癌CT検診認定医、核医学会専門医、検診マンモグラフィ読影認定医、第1種放射線取扱主任者などの資格を個々にいくつか保有しており、放射線の分野ではエキスパートの集団と自負しております。

2. 画像診断装置の利用について

当院には各種画像診断装置がありますが、地域連携室を通していただくことで、CT(64列MDCT)、MRI(1.5T)、PET-CT、各種の核医学検査、骨密度検査に関しては、あたかもご自分の診療室の画像センターのように利用いただくことが可能です。検査結果は3日以内に読影報告書と画像のCD-Rを先生方の手元にお届けしますし、病状によっては直接電話などによる緊急連絡も行っています。もし適切な検査の選択や複数検査が必要な場合の優先順位や順番について疑問がありましたら、遠慮なく地域連携室を通じて放射線科の医師にご相談ください。

3. 喀血外来について

呼吸器疾患に強い当院の特徴として、IVR科による「喀血・血管塞栓術外来」を開設しています。喀血でお悩みの患者さんをご紹介ください。

4. 地域の先生方や患者さんへ

当院の画像診断機器を地域の画像センターとしてお気軽にご利用ください。
 放射線診断専門医が、詳細でわかりやすいレポートをお返しします。
 画像診断に関してのご質問やご要望がありましたら、お気軽にご相談ください。
 当院地域連携室へのお電話は042-491-9128になります。



複十字病院の行事予定

市民健向ゼミ

会場 清瀬けやきホール1階セミナーハウス **開催時間** 14時～15時
 2020年2月25日(火) 検査機器について～CT、MRI、超音波診断装置～
 2020年3月10日(火) 今日から始めよう！認知症先送りのライフスタイル

登録医紹介



宇都宮レディースクリニック

住所 〒204-0021
東京都清瀬市元町1-4-26
清瀬パークホームズ1F

電話 042-491-0103

診療科 産科・婦人科

診療時間	月	火	水	木	金	土
【午前】 9:00~11:30	○	○	○	△	○	○
【午後】 14:00~17:00	○	○	○	△	○	○

休診 木曜日、日曜日、祝日

宇都宮病院 産婦人科は、独立移転しアビック薬局、三浦整形外科のならびの清瀬パークホームズ1Fで2017年9月1日より新規開業致しました。無床のクリニックで分娩取扱いはしませんが、妊娠初期~中期健診まで婦人科一般、癌検診、不妊外来、更年期、子宮下垂、脱など外来で幅広い世代の女性の健康をサポートいたします。

「定期的に検診を受けているから…」 「もう年齢も重ねた事だし…」 「まだまだ若いから…」 「もう少し様子をみてから…」 「ストレスのせいだと思う…」 よく耳にする言葉です。

しかし、具体的な症状や、お悩みについては検診だけでは、解決する事も改善する事もできません。また、女性には卵巣の働きと結びついたライフサイクルに由来する各年代に特徴的な疾患、症状が存在します。「生理痛」についても子宮筋腫や子宮内膜症など原因となる疾患が背景にある場合と、生活環境、生活習慣や体調、ホルモン環境との結び方が強いものとは適切な対処方法が異なってきます。同様に生理不順、不正出血、月経前症候群、更年期障害、性感染症なども症状は同じでも、原因が異なれば、適切な対応も治療効果も異なってきます。しっかりした診断のもと、年齢やライフスタイルにまで配慮した適切な治療、対応を検討することによって、より生活の質の改善が図れるのに、その機会を失ってしまう、先延ばしにしているとしたら、残念な事ではありませんか？

婦人科に特有の診察に抵抗感、違和感を抱かれる方がいらっしゃるのも事実だとは存じますが、不安や悩みをお抱えの方は、ご相談をいただくことから、生活の質の改善への第一歩を踏み出しましょう。

宇都宮レディースクリニックは、女性が安心して暮らしていくことを推進、応援する医療を目指していきますのでよろしくお願いいたします。

【基本理念・基本方針】

すべてのスタッフで患者様が安心して暮らすことを推進、応援する医療を目指します。

- 常に患者が安心した医療が受けられるように暖かく親身な対応を心がけます。
- 効果的でより安全な治療環境づくりに努めスタッフによる連携を図ります。



院長
宇都宮 篤司

「認知症診療における人工知能の活用について」

認知症疾患医療センター長 飯塚 友道

人工知能（AI）はいまや大きなブームになっています。私がAIに関わろうと考えたきっかけは、知能に関わる仕事を専門にしていますので、AIの「知能」がどれほどのものかを知りたかったからです。軽々しく知能と言わないでほしいという気持ちが、ベースにありました。実際に、深層学習のプログラムを組み立ててみて、実感したのは、データの量と質でAIの性能はほとんど決まってしまうということです。AIにできることは、クラスタリング（グループ分け）、回帰と分類です。どれにも共通するのが、膨大なデータから、人間が気付かないような特徴を自分で見つけだせることです。これは非常に便利な能力で、AIを利用して認知症の早期診断が可能になってきました。脳の画像の分類だけでなく、顔写真から早期診断できる可能性もあります。ただAIにも弱点があって、今のところ、意味や価値の判断はできません。とても優秀ですが「データに従順な子供」です。その典型的な例として2015年のグーグルフォト問題があります。自動的に写真にタグをつけるAIが、黒人の女性の写真に「ゴリラ」とタグを付けてしまったのです。グーグルは謝罪しましたが、これはAIが間違えたわけではなく、ネット上に飛び交っている、黒人をゴリラ呼ばわりする書き込みから学習してしまったのです。というわけで、AIは非常に便利ですが万能ではないので、何ができて何ができないかを理解しておく必要があるのです。



AIを利用した画像診断

乳がん市民公開講座「明日の私のために」を開催いたしました

第4回 2019年11月23日(土) 最新の乳がん事情—過去から未来へ—

講演

- 複十字病院の乳がん診療15年と今後
複十字病院乳腺センター長 **武田 泰隆**
- 乳がんの薬物療法—乳がんと向き合い生きていく—
都立駒込病院 名誉院長
複十字病院内科 がん診療アドバイザー **佐々木 常雄 先生**

開設から15年、地域におけるQOLの高い乳がん診療の提供を目標に取り組んできた乳腺科の実績を振り返り、乳腺医療の全体像と現在の取り組みについて紹介いたしました。

また、当院内科がん診療アドバイザーの佐々木常雄先生より、腫瘍内科医から見た乳がんの治療についてご講演いただきました。



JA東京みらい清瀬新鮮館大収穫祭参加

事務部庶務課 鈴木 博恵

2019年10月26日（土）、JA東京みらい清瀬新鮮館大収穫祭に参加してきました！
前日は冷たい雨が降っておりましたが、当日は我が複十字の晴れ集団により、見事な晴天・夏日となりました。
理学療法士・検査技師・事務部のメンバーで肺年齢と血管年齢の測定を出店しました。

皆様が来てくれるかドキドキでしたが、沢山の方にお越し頂き、大盛況となりました。
他にも豚汁、焼きそば、こだわりコーヒー等、様々なお店で賑わっており、とても楽しめる会場となっております。
今回初めて参加させて頂きましたが、地域の方々と交流する事ができ複十字病院をもっと知ってもらう良い機会となりました。



「複十字病院特別音楽会、奈加靖子さんセッションコンサート」を開催しました

2019年10月26日（土）16：00より複十字病院新外来待合室にて、歌手の奈加靖子さんをお迎えして「複十字病院 特別音楽会」を開催しました。

音楽会ではアイリッシュハープを使った演奏と素敵な歌声で観衆である患者さんを魅了し、休憩をはさんだ第Ⅱ部では演奏の他にもピアノの伴奏により患者さん達と一緒に合唱して、土曜の午後に楽しいひと時を過ごしました。

終幕の際は早乙女副院長より挨拶があり、また、当院で活躍して頂いているボランティアさんより感謝の花束を贈呈し、名残惜しまれながらも盛会のうちに17：00に終演しました。



音楽会の様子①



音楽会の様子②



複十字病院ボランティア
スタッフによる感謝の花束贈呈



早乙女副院長の挨拶



予約・紹介のご案内

- 受付時間
平日 8:30～17:00 土曜日 8:30～12:00
- 医療機関・紹介状をお持ちの患者さんのご予約
電話 042-491-9128
FAX 042-491-3553
- 再診・初診（紹介状なし）のご予約
電話 042-491-6228

複十字病院
〒204-8522 東京都清瀬市松山3-1-24
代表電話 042-491-4111
代表FAX 042-492-4765

交通のご案内

- 電車でお越しの方
 - ・西武池袋線『清瀬駅南口』より徒歩12分
 - または、バス『南口2番乗り場』より3つ目『複十字病院前』下車
 - ・JR中央線 武蔵小金井駅より『清瀬駅南口ゆき』バス『保育園入口』下車
バス停より徒歩5分
- お車でお越しの方
 - ・小金井街道『清瀬高校入口』信号を曲がり 西に300メートル
 - ・所沢街道『全生園東』信号を曲がり病院通りを東北に2キロメートル